



## 2016年度の寄贈資料 荒木新太郎氏寄贈の化石



エpipuzosia (?)



メソpuzosia



イノセラムス・  
ホベツエンシス



パキディスカス・  
ジャポニクス



パキディスカス・  
ジャポニクス



パキディスカス・  
ジャポニクス

20 cm

ホベツアラキリュウの発見者である<sup>あらき しんたろう</sup>荒木新太郎氏から、アンモナイト、オウムガイ、イノセラムスなど計23点の化石を<sup>きぞう</sup>寄贈していただきました。その中の一部の資料を<sup>しりょう しょうかい</sup>紹介します。

エpipuzosia (?) としてのアンモナイトは国内で10点も産出していない希少な種類で、その<sup>とくちょう りかい</sup>特徴を理解する上で重要な標本です。

パキディスカス・ジャポニクスは国内では<sup>ほべつちいき</sup>穂別地域でしか確認されていない、穂別地域を代表するアンモナイトです。こうした大型のアンモナイトは化石産地で目立ち、<sup>ゆうせんてき</sup>優先的に<sup>さい</sup>採集されてしまうために、現在では産地に行っても破片ぐらいしか落ちていません。穂別博物館には6点(2013年からの<sup>きょうりゅうはっくつ</sup>恐竜発掘で3点が追加採集)ほどが<sup>しゅうぞう</sup>収蔵されていました。今回、この種の大型標本を3点も寄贈していただきました。

学芸員 西村智弘

# 博物館収蔵化石の むかわ町天然記念物指定について

むかわ町文化財番号	標本番号	資料名	分類	指定年月日
第3号	HMG-1	ホベツアラキリュウ化石骨	首長竜	S. 54. 3. 5
第4号	HMG-1528	フォスフォロサウルス・ボンペテレガンス	モササウルス類	H. 29. 4. 1
第5号	HMG-12	モササウルス・ホベツエンシス	モササウルス類	H. 29. 4. 1
第6号	HMG-5	メソダーモケリス・ウンデュラータス	ウミガメ	H. 29. 4. 1
第7号	HMG-1056	アノマロケリス・アングラータ	陸生カメ	H. 29. 4. 1
第8号	HMG-371	ティロサウルス(未定種)	モササウルス類	H. 29. 4. 1
第9号	HMG-1065	モササウルス・プリズマティクス	モササウルス類	H. 29. 4. 1
第10号	HMG-387	ケントリオドン・ホベツ	イルカ	H. 29. 4. 1



むかわ町文化財第3号(旧 穂別町指定文化財第2号)ホベツアラキリュウ化石骨(HMG-1)の復元模型

平成29年4月1日付けで新たに7点の化石がむかわ町文化財(天然記念物の部)に指定された結果、昭和54年に文化財指定を受けたホベツアラキリュウ化石骨を含めて、当町および穂別博物館には文化財指定を受けた資料が8点になりました。

これら以外にも穂別博物館には、日本最大の全身骨格恐竜「むかわ竜」や「首の短い首長竜」全身骨格など将来的に当町や北海道、国指定文化財となりうるような化石資料も所蔵されています。これら化石資料は、その学術的価値が認められる学術論文が公表されていない研究中の資料となっていますので、これらについては、研究が終了・学術論文が公表された後に、順次むかわ町文化財に指定していく予定です。

新たに天然記念物に指定された資料について、ホッピーだよりで順次紹介していきます。

学芸員 西村智弘



## むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人/小~高校生:100円

大人 300円

団体/小~高校生:50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

### 2017年7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 2017年8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日 町民無料観覧日